

～ 心理・文化学科 7月オープンキャンパス ～

7月20日(土) : 在学生座談会: キャンパスライフ紹介

7月21日(日) : 心理・文化学科で目指せる免許・資格、進路紹介



九州女子大学人間科学部心理・文化学科では、心理学、国語書道教育、文化文芸の3つのコースの授業を通して、以下の3つの学びのポイントから、社会に貢献できる幅広い「職業人材」を育成していきます。

- ①専門性の高い学びに集中し、自分らしい学びと専門性を高める、
- ②複数の免許・資格を取り合わせることで就職に強い人材を育成することができる、
- ③実践的応用力が身につく現場での体験や実習、アクティブラーニング

今回は、7月 20 日(土)・21日(日)の2日間のオープンキャンパスのご案内として、心理学コースを例に、大学での「学び」についてご紹介します。

【人間の営みに関わる全てが心理学の対象】

「心理学」と聞くと、皆さんはよく「心理カウンセラー」のような限られた職業や分野だと思う方がいるかもしれません。もちろん、この分野を目指している方もたくさんいらっしゃいますが、実は「心理学」は、人間の営みに関わる全てが心理学の対象となります。このように人の心や行動を対象とする「心理学」の活用できる場面はいたるところにありますので、その場面が多い分、「心理学」には、さまざまな分野があります。その分野からオープンキャンパス展示の知覚心理学(錯覚・錯視)」、臨床心理学分野から「心理演習(箱庭)」をご紹介します!

基礎心理学 (応用心理学・実践の基礎となる人間の行動や心の普遍的なメカニズムを探求する研究)	応用心理学 (基礎心理学の成果に基づき、社会の実践等で実用的になるよう探求する研究)
学習・言語心理学、 知覚・認知心理学(知覚心理学)、 発達心理学、神経・生理心理学、	臨床心理学、感情・人格心理学、 教育・学校心理学、産業・組織心理学、 社会・集団・家族心理学(家族心理学)、 健康・医療心理学、司法・犯罪心理学、

【基礎:知覚・認知心理学:オープンキャンパス展示(錯視・錯覚)】

ものごとを実際とは異なるように知覚する現象、目の錯覚のことを「錯視」と言います。今回、オープンキャンパスに展示をしているのは、心理・文化学科長の鍋田先生作成の「錯視」作品です。

目の錯覚だけではなく、大きさ・重さの錯覚もありますが、いくつかご紹介します。

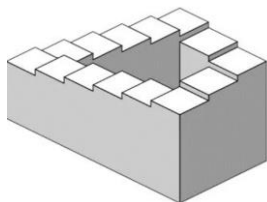
「①ありえない階段!?ペンローズ階段」

登り続けるといつの間にか出発点に戻ってしまうという実際にはあり得ない階段です。

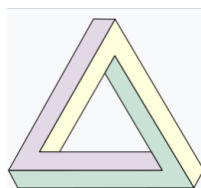
「②ありえない!?三角形、ペンローズ三角形」

三角の頂点だけ見ると実際にある立体に感じられますが、よく見るとありえない形です。呼び名は、図形全体を脳がどのように理解しているかを研究していたロジャー・ペンローズにちなんでいます。

「③ありえない!?重いのはどっち!?!」という大きさ・重さの錯視を見た目の印象と実際の重さを比べる体験もできますよ!



①ペンローズの無限階段



②ペンローズの三角



③重いのはどっち?

このように錯視には、単に見間違えるだけではなく、事実を教えられても自分の見え方がなかなか直らないという性質があります。

まずは、オープンキャンパスで、そんな不思議な錯視の世界を楽しんでみてください!!

【応用:心理実習】



「実習前の事前指導」

現場で働いている先生の講義で
専門家として必要なマナーを学ぶ。



「バスで移動!!」



「心理面接のデモンストレーション」

施設の心理職の先生の心理面接
デモンストレーションの見学

このように心理学コースでは、人の心や行動に関する知識や技能を基礎から応用まで体系的に学び、論理的思考とデータによる実証を重視する視点を習得したり、心理実習を通して、座学では得られない体験的な学びにより、実習生自身がその意義を自ら見出していくプロセスとして、学んだ知識や技能を社会に向けて主体的に発信できるようになることを目的としています。

オープンキャンパスでは、3つのコースの教員がそれぞれの特色を紹介しながら、高校生の皆さんが「自ら学ぶ」なら興味のある勉強をしたい、という気持ちを大切に受け取り、将来について一緒に考えたいと思います。是非、オープンキャンパスで興味のあるものや、やりたいことを教えてください!